

たむら支援学校だより5月号

R3 .5. 25



～創立5周年を迎えて～

平成29年度4月に春山小学校跡地に小中学部（春山校舎）、船引高校内に高等部（石崎校舎）として、「福島県立たむら支援学校」が開校し、今年で5年目になりました。

これまで田村市をはじめ、たくさんの関係市町村の皆様、保護者の皆様の温かい御支援をいただきながら、「地域と共に歩む学校」として充実した教育活動を行うことができました。

改めて、心より感謝申し上げます。

しかし、いまだにコロナ禍にあり、現在は「福島県緊急事態宣言」が発令中でもあることから、更に感染症対策を徹底して過ごしています。また、大変残念ではありますが、5月末に予定しておりました小学部中学部の運動会は公開を控え、平日（晴天時）での実施という選択にいたしました。

子どもたちの学習活動の様子については、写真等になりますが情報発信は続けてまいります。そして、事態が落ち着きましたら、地域の皆様にも御来校いただける機会をもちたいと考えております。

今後も引き続き、皆様の御理解と御支援をどうぞよろしくお願いいたします。 校長 菅野 美恵子



「校章」について、改めて紹介します。

田村市のシンボルである大滝根川を下方（水色）に配置し、左上（緑）には片曾根山を配置しました。中央部分は、「たむら支援」の「た」の字を田村市の花「つつじ」の花びらで表現しています。児童生徒が、健やかに成長することを願うとともに、地域に根差した学校でありたいという思いを込めて作られています。



学校玄関前の5月の風景。
滝開のつつじと、片曾根山。

小学部

4月に入学した1年生も、少しずつ学校生活に慣れ、元気に体を動かしたり学習に取り組んだりしています。一学年ずつ進級した上級生も、新しい教室での出会いがあり、いろいろな友達と一緒に学ぶ活動が増えてきています。

1年生のある一日。



外遊びを楽しみ、制作活動にも集中しています。

4年生と5年生「春をさがそう」



話し合いや発表をする活動も増えました。

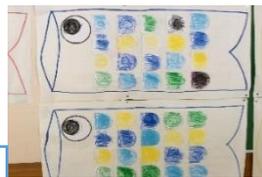
2年生:日常生活での手洗い。

運動後や、外から帰ったら必ず手洗いとうがいをしています。一人ですることが増えていきます。



制作活動:こいのぼり

同じ題材の制作活動でも、それぞれの児童の課題とねらいに応じた学習内容を設定して行っています。



それぞれの学級園で、花や野菜を育てています。その看板を作ったり、観察日記を書いたりしています。



小学部は、すぐに観察できる場所に学級園を設置。校地内でこのような方法の学級菜園もあります。

裏面：中学部・高等部

中学部

1年生は、作業学習の体験から始めました。取り組む学習内容が明確にわかると、みんな集中して取り組むことができました。

農工芸班での
作業体験をしました。
ジャガイモの植ええや
除草作業など、どの作業にも
集中して取り組んでいました。



2年1組 生活単元学習「栄養」

タブレットを使って3大栄養素について調べたことをまとめ、
バランスの良い献立を一人一人が考えました。



高等部

4月に新入生歓迎会や生徒会総会を行いました。会の準備や
進行、片付けまで、生徒が行います。

新入生歓迎会 4月23日(金)

2, 3年生が学年ごとに考えた出し物で、1年生に歓迎の気持ちを
伝えました。1年生からは、お礼の言葉とダンスの披露がありました。



1年3組 生活単元学習

「植物を育て成長を記録しよう」

ピーマン、トマト、ナスの苗植えと、
二十日大根の種まきをしました。

これからの成長を写真に撮ったり、
絵に描いたり、茎の長さを測ったりして
記録をとっていきます。



友達等と協力して、丁寧に作業をしました。



(文責 菅野 美恵子)

